

# 学校運営協議会議事録

令和5年6月8日（木）

定時制 14:00～15:30

場所 杜陵高等学校奥州校会議室

出席者 校長、定通副校長

菊池 伸介 佐藤徳義税理士事務所（PTA代表）

菅原 計二 平泉文化遺産センター主任文化財調査員（同窓会代表）

小澤 絹子 株式会社オザワモクザイ

小野寺 順司 有限会社小野寺板金代表取締役

千葉 恭義 水沢グランドホテル取締役（商工会代表）

小野 智哉 株式会社北上交通観光

渡部 千春 岩手県立農業大学校・奥州市国際交流協会

菅原 敬子 奥州市子育て総合支援センター所長

千田 裕子 奥州市水沢南中学校校長（接続する学校の職員）

菊地 治美 県南教育事務所スクールソーシャルワーカー

高屋敷 栄子

野澤 尚

## 次 第

- 1 開 会
- 2 学校運営協議会委員委嘱状交付
- 3 校長挨拶
- 4 出席者自己紹介
- 5 学校概況説明

### （1） 令和5年度学校経営計画について

- ・校長：コミュニティ・スクールについて

実際に様々な立場の委員の皆様からご意見を頂いて反映したい。

### （2） 杜陵高校奥州校スクールポリシーについて

- ・通信制へ通う生徒が全国的に増えている。（宮城県の例）
- ・本校の武器は、生徒の一人ひとりを見ていること。（定時制のバドミントン部全国大会出場の例）
- ・唯一心配であるのは、卒業後のことを見据えて在学中に人と関わる力をつけさせる必要があることである。地域の皆様のご支援を頂きたい。

(3) 定時制概況説明 (副校長)

- ・昼間部、夜間部の2部制。基本は4修制であるが、3年で卒業する生徒も多い。

(4) 通信制概況説明

6 協 議

(1) これからの活動について

(2) 役員選出 (通信制副校長)

- ・(事前をお願いして) 会長には 小野寺 順司 様  
副会長には 小野 智哉 様 (拍手で承認)

(3) その他

7 意見交換

- ・菊池 伸介 P T A会長を引き受けて2年目であり、手探り状態である。これだけのメンバーが集まっているので、積極的に意見を出していきたい。
- ・菅原 計二 学校を開かれたものにしていきたい。ただ、先生方に過度な負担がかからないようにしたい。
- ・小澤 絹子 役のおかげで「学校へ行こう週間」で授業を見学し、「こんな学校があったんだ」と思った。不登校の生徒が増えている中で、この学校の重要性を伝えていきたい。この学校のレベルが低いと言う人もいるが、決してそんなことはない、と広めていきたい。
- ・小野寺 順司 私の在学中にはなかったコミュニティ・スクールなど、進化していると思う。ありがとうございました。
- ・千葉 恭義 今後もお手伝いしたい。
- ・小野 智哉 うちの子どもは奥州校の定時制を3年で卒業した。息子は「HR以外、縛りがないのが良かった」と言っていた。奥州校は地域からの要望でできた学校であり、授業もマンツーマンに近い。P T A活動も昔は活発であった。進路に関して、定時制では初年度、

岩手医大の薬学部に合格した生徒がいたが、家庭の事情で辞退した。また、城西大に入った生徒もいた。そのような生徒がいたことも覚えていて欲しい。

- ・渡部 千春 地域の人がどう興味を持つかということに関して、先ず地域の定義をお尋ねしたい。また、かなり入試が近くなつてからしか思い浮かばない中学生がいるようだが、中学校等で高校説明会、あるいはオープンスクールをしているのかも併せて質問したい。

回答：定時制（畠山） 説明会としては実施していない。2年位前までは実施していたが、定時制（単位制）のしくみが伝わらないので、現在は個別で行っている。11月～12月に個別に来てもらい、丁寧に対応している。昨年は動画を作成し、中学校に提供した。尚本校では、11月1日から11月7日まで「学校へ行こう週間」、更に7月14日はレクリエーション大会の予定であるので、是非参観頂きたい。

通信制（村山） 地域の定義に関しては、まずは奥州市をターゲットに考えている。

通信制（野澤） 学校説明会は、希望があれば随時行っている。7月からは一人ずつ対応し、昨年度は79名であった。また、入学者選抜を中心とした説明会を1月7日に実施した。参加者は生徒・保護・教員を含めて73名であった。今年度は1月6日（土）に学校説明会を用意している。

通信制（村山） 10月29日が18S、11月5日が19Sで、保護者と学校運営協議会委員の方が授業参観可能である。更に10月15日が盛岡の本校で運動会が行われる予定であるので参観下さい。

- ・渡部 千春 「このような学校がある」ということがわかっていることは大切であるので、説明会は重要である。また、今回こども支援センターや中学校の校長がメンバーであることは心強い。国際交流の立場からも多様性を考慮していただきたい。ところで、宮下町の

人から、「この学校の生徒がタバコを吸っているのでは」と言われることがある。20才を超えている生徒もいるので有り得ることだが、地域としては声がけをしていくことになった。ということで、今後は声をかけると思うのでよろしくお願ひしたい。

・菅原 敬子 子育て支援として0才～18才を対象としているが、何かできることはないかと思っている。総合の時間などで赤ちゃんと接する体験など提供できるのでは。考えていきたい。

・千田 裕子 資料の数字一つひとつに子どもの人生があると思った。中学の子どもたちのためにもなる。校長会でも反映させたい。

・菊地 治美 以前関わった生徒に奥州校で会って、「どうしてる？」と尋ねたところ、「先生たちがいい」と一番最初に言っていた。一人ひとりの生徒を丁寧に支援してくれている。地域に奥州校があって恵まれている。県立高なので費用もあまりかからないのもよい。私としては中学1年の生徒から情報提供している。中学生も「学校に行こう週間」で来ることができるのか。

回答：定時制（畠山） 今まではコロナ禍のため行っていなかったが、今年度はその方向で考えている。そのうち案内したい。

通信制（村山） 毎日登校できるならば全日制の方がよい。「学校へ行こう週間」は、保護者と委員の方のみで実施する。

## 8 その他

第2回学校運営協議会 令和6年2月2日（金）13時30分～15時00分（予定）

本会場にて

## 9 閉会